【FdData 高校入試：中学社会歴史：平安】

[桓武天皇の時代／東アジアの変化／摂関政治／国風文化／浄土信仰／武士の成長／院政・源氏と平氏／平清盛の政治／FdData 入試製品版のご案内]

[FdData 入試ホームページ]掲載の pdf ファイル(サンプル)一覧]
※次のリンクは[Shift]キーをおしながら左クリックすると，新規ウィンドウが開きます
社会： [社会地理]，[社会歴史]，[社会公民]
理科： [理科 1 年]，[理科 2 年]，[理科 3 年]
数学： [数学 1 年]，[数学 2 年]，[数学 3 年]
※全内容を掲載しておりますが，印刷はできないように設定しております

【】平安京と東アジアの変化
【】桓武天皇の時代
[平安京]
[問題]
794 年に都が平安京とされた。このときの天皇は誰か。次の[　　]の中から選べ。
[天武天皇　聖武天皇　桓武天皇　後醍醐天皇]
(広島県)
[解答欄]

[解答]桓武天皇
[解説]
奈良時代の後半には，貴族や僧の間で勢力争いが激しくなり，政治が混乱した。そこで，桓武天皇は，新しい都で政治を立て直そうとして，784 年に都を長岡京に移し，ついで 794 年に都を平安京(今の京都市)に移した。そのさい，仏教の勢力が政治と結びつくのをきらい，奈良にある寺が平安京に移ることを禁じた。

[平安京]
桓武天皇 794年
貴族や僧の間の勢力争いで政治が混乱したため

(鳴くよ(794)ウグイス平安京)　794 年から 1185 年の約 400 年間を平安時代という。
※入試出題頻度：「貴族や僧の間で勢力争いが激しくなり，政治が混乱したため○」「桓武天皇◎」「794 年○」「平安京(地図)◎」
(頻度記号：◎(特に出題頻度が高い)，○(出題頻度が高い)，△(ときどき出題される))

[問題]

8 世紀後半，貴族や僧の間で勢力争いが激しくなり政治が混乱した。こうした中，新しい都で政治を立て直そうとして，平城京から長岡京，次いで平安京に都を移した天皇はだれか，書け。

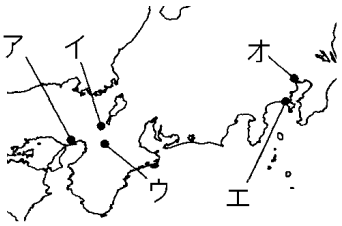
(山形県)

[解答欄]

[解答]桓武天皇

[問題]

8 世紀末，桓武天皇は都を現在の京都の位置に移した。これについて，次の各問いに答えよ。



(1) この新しい都を何というか。

(2) (1)の位置を，右の地図中のア～オから 1 つ選んで記号で答えよ。

(山梨県・鳥取県)

[解答欄]

(1)	(2)

[解答](1) 平安京　(2) イ

[問題]

次の文中の①，②に適語を入れよ。

桓武天皇は，寺院の勢力が強く，貴族や僧の争いが激しかった奈良の(　①　)京から長岡京，そして，794 年に(　②　)京へと都を移した。

(熊本県改)

[解答欄]

①	②

[解答]① 平城　② 平安

[問題]

次の各問いに答えよ。

(1) 桓武天皇が平安京に都を移したのは西暦何年か。

(2) 桓武天皇が都を移した理由としてあてはまるものを次から 1 つ選べ。

ア　奈良の都がせまくなったため。

イ　貴族や僧の間で勢力争いが激しくなり，政治が混乱したため。

ウ　朝廷の税による収入がふえたため。

(補充問題)

[解答欄]

(1)	(2)

[解答](1) 794 年　(2) イ

[問題]

都が平城京から新しい地に移されたとき，寺院は移されずにそのまま残された。それはなぜか。その理由を，「僧」の語句を用いて簡潔に書け。

(奈良県)

[解答欄]

[解答]僧が政治を混乱させたから。

[問題]

次の文中の①に数値を入れよ。また②の(　　)内より適切な数字を選べ。

平安時代は，(　①　)世紀の末に都が平安京に移されてから約(100／200／300／400)年間続いた。

(秋田県改)

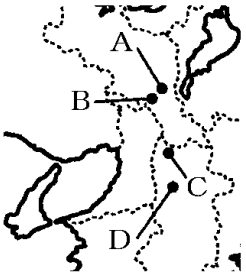
[解答欄]

①	②

[解答]① 8　② 400

[問題]

右図は，長岡京，藤原京，平安京，平城京の 4 つの都があった位置を●で示したものであり，A～D はそれぞれ 4 つの都のいずれかである。A～D を，都がおかれていた時期の古いものから順に並べかえ，記号で書け。



(京都府)

[解答欄]

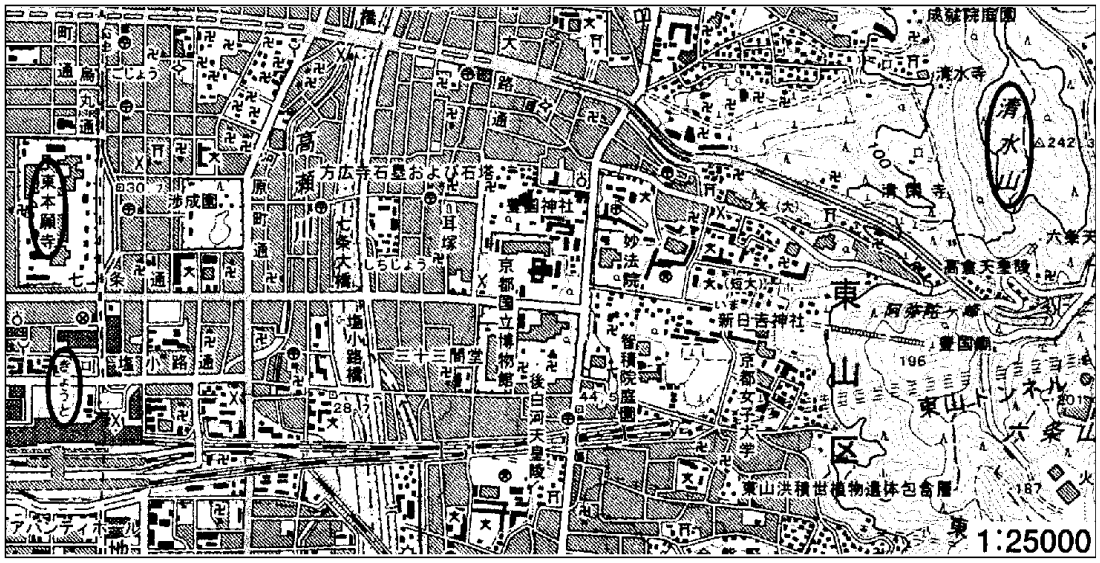
[解答]D→C→B→A

[解説]

D(藤原京：持統天皇)→C(平城京：奈良時代)→B(長岡京：桓武天皇)→A(平安京：桓武天皇)

[問題]

平安時代に都のあった京都市の街のつくりは，唐の都の長安にならってつくられたなごりを残している。それはどのようなことからわかるか。下の地図から読み取れることを簡潔に書け。



(宮崎県)

[解答欄]

[解答]道路が碁盤の目状につくられていることから読み取れる。

[解説]

平城京と同様に，平安京も，中国の唐の都である長安を手本としてつくられた。道路が碁盤の目状につくられているのは長安の影響である。

[東北への支配の拡大]

[問題]

胆沢城や志波城が坂上田村麻呂によって築かれ東北地方に対する朝廷の勢力が広まった。このときの天皇はだれか，次から 1 人選べ。

[推古天皇　天智天皇　聖武天皇　桓武天皇]

(秋田県)

[解答欄]

[解答]桓武天皇

[解説]

平安時代初期のころ，律令国家の支配が及んだのは関東地方までで，東北地方に住む人々は，朝廷から異種の文化をもつ異民族あつかいにされ，蝦夷と呼ばれた。朝廷はしだいに東北地方への支配を拡大していったが，これに対し蝦夷の人々は，アテルイを指導者として激しく抵抗した。

[東北地方への支配の拡大]
桓武天皇
坂上田村麻呂 を 征夷大将軍 に
↓
蝦夷 アテルイ

桓武天皇は，797 年に坂上田村麻呂を征夷大将軍に任命した。
801 年，坂上田村麻呂は，4 万人の朝廷軍を率いて胆沢地方を平定し，
翌年，胆沢城(現在の岩手県)を造った。アテルイは軍を率いて降伏した。

※入試出題頻度：「桓武天皇○」「坂上田村麻呂○」「征夷大将軍○」「蝦夷○」「アテルイ○」

[問題]

桓武天皇の時代，朝廷は，坂上田村麻呂を中心とする大軍を送り，(　　X　　)。X に入る適切な内容を，次のア～エから 1 つ選んで記号を書け。

ア　源義経をかくまう奥州藤原氏を滅ぼした

イ　東北地方に拠点を置く蝦夷を攻撃した

ウ　関東地方で起きた平将門の乱を平定した

エ　百済に協力して高句麗や新羅と戦った

(秋田県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

アは鎌倉時代の初め。ウの平将門の乱は平安時代中期。エは白村江の戦いで飛鳥時代。

[問題]

次の文中の①，②に適語を入れよ。

平安時代初期，東北地方にすむ人々は(　①　)と呼ばれていた。桓武天皇は，(　②　)を征夷大将軍に任命して遠征させた。

(新潟県改)

[解答欄]

①	②

[解答]① 蝦夷　② 坂上田村麻呂

[問題]

次の文は，桓武天皇のころの朝廷について説明したものである。文中の①～③の(　　)内からそれぞれ適語を選べ。

地方の政治を立て直すため，①(国司／防人)に対する監視をきびしくした。また，坂上田村麻呂を②(太政大臣／征夷大将軍)とする軍を③(東北／九州)へ送り，その勢力を広げた。

(富山県)

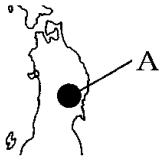
[解答欄]

①	②	③

[解答]① 国司　② 征夷大将軍　③ 東北

[問題]

右の地図の A の範囲を含む地域を本拠地とした蝦夷の指導者であり，平安時代の初めに朝廷が派遣した軍と戦い鎮圧された人物として，正しいものは次の[　　]のどれか。



[アテルイ　シャクシャイン　藤原純友　坂上田村麻呂]

(長崎県)

[解答欄]

[解答]アテルイ

[問題]

次の文中の①，②の(　　)内からそれぞれ適語を選べ。

平安時代の初期に朝廷は，東北地方の支配に力を入れ，坂上田村麻呂を①(太政大臣／征夷大将軍)に任命し，東北地方の蝦夷の拠点を攻撃した。これに対して，蝦夷は②(シャクシャイン／アテルイ)などをリーダーに団結して抵抗した。

(熊本県)

[解答欄]

①	②

[解答]① 征夷大将軍　② アテルイ

[問題]

坂上田村麻呂が，アテルイが指導する蝦夷との戦いの拠点とするために築いた城の位置する場所は，現在のどの道県にあるか，次の[　　]から適切なものを 1 つ選べ。

[北海道　青森県　岩手県　山形県]

(石川県)

[解答欄]

[解答]岩手県

[問題]

古代に起こった次のア～エのできごとを，古いものから順に並べ，記号で答えよ。

ア　朝廷は，坂上田村麻呂を派遣して，東北地方への支配を広げた。

イ　朝廷は，人民の把握のために，最初の全国的な戸籍をつくった。

ウ　朝廷は，唐にならった最初の律令を完成させ，中央集権を整備した。

エ　朝廷は，開墾を奨励するために，墾田永年私財法を定めた。

(鳥取県)

[解答欄]

[解答]イ→ウ→エ→ア

[解説]

イ(670 年天智天皇の時代)→ウ(701 年の大宝律令)→エ(743 年)→ア(801 年)

[問題]

桓武天皇の時代，九州地方の政治と外交や防衛の中心となった役所を何というか。

(福井県)

[解答欄]

[解答]太宰府

[空海と最澄]

[問題]

9 世紀に遣唐使船で唐にわたって仏教を学び，帰国後，高野山に金剛峯寺を建てて真言宗を広めた人物名を，漢字 2 字で書け。

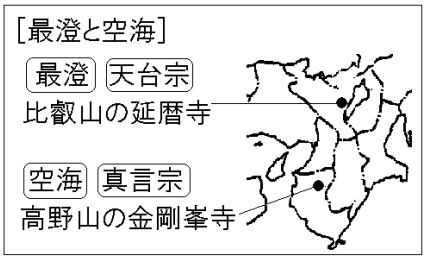
(兵庫県)

[解答欄]

[解答]空海

[解説]

奈良時代，仏教が政治と結びついて腐敗(ふはい)したため，桓武天皇は僧侶(そうりょ)の資格を厳しくするなどして，それをあらためようとした。これに応じて仏教界にも改革の動きが起こった。最澄(さいちょう)と空海(くうかい)は，教典(きょうてん)の研究を中心とする奈良仏教にあきたらず，仏教の本来のあり方を求めて修行を重ね，遣唐使(けんとうし)にしたがって唐(とう)にわたった。



帰国後，最澄は比叡山(ひえいざん)に延暦寺(えんりゃくじ)(滋賀県・京都府)を建てて天台宗(てんだいしゅう)を，空海は高野山(こうやさん)に金剛峯寺(こんごうぶじ)(和歌山県)を建てて真言宗(しんごんしゅう)を開いた。いずれも，人里はなれた山奥の寺で学問や厳しい修行を行った。やがてこの新しい仏教は，貴族たちの間に広く受け入れられていった。

※この単元で覚えておかなければならない語句は 8 つもあるため覚えにくい。このような場合，適当な語呂合わせで覚えるのがよい。例えば，

・祭典火炎(さいてんひえん)：さい(最澄) てん(天台宗) ひ(比叡山) えん(延暦寺)

・空港に新婚(くうこうにしんこん)：くう(空海) こう(高野山) しん(真言宗) こん(金剛峯寺)

※入試出題頻度：「最澄・天台宗◎」「空海・真言宗◎」

[問題]

次の文中の①，②に適語を入れよ。

高野山には，金剛峯寺がある。この寺は，唐で新しい仏教を学んだ(　①　)が，帰国後，(　②　)宗を広めるために建てたものである。

(茨城県改)

[解答欄]

①	②

[解答]① 空海　② 真言

[問題]

次の文章中の①，②の(　　)内からそれぞれ適語を選べ。

桓武天皇が，都を平安京に移したころに唐に渡った僧には，比叡山に延暦寺を建てた①(最澄／栄西)がいる。(①)は，日本に多くの経典を持ち帰り，②(臨済宗／天台宗)を開いた。

(愛媛県)

[解答欄]

①	②

[解答]① 最澄　② 天台宗

[問題]

次の文中の①，②に適語を入れよ。

比叡山延暦寺のもとを築いた(　①　)は，中国で(　②　)宗を学び日本に広めた。

(和歌山県改)

[解答欄]

①	②

[解答]① 最澄　② 天台

[問題]

次のア～エのうち，平安時代のわが国の仏教のようすについて述べたものとして最も適当なものはどれか。1 つ選んで，その記号を書け。

ア　唐で学んだ仏教をもとに，空海は真言宗を，最澄は天台宗をわが国に広めた。

イ　聖武天皇は，国ごとに国分寺や国分尼寺を，都には東大寺を建てさせた。

ウ　武士や農民の間で一向宗(浄土真宗)が広がり，各地で一向一揆もおきた。

エ　日蓮は，法華経の題目を唱えれば，人も国家も救われるという教えを広めた

(香川県)

[解答欄]

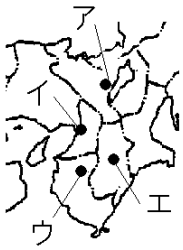
[解答]ア

[解説]

アは平安時代初期，イは奈良時代，ウは室町～戦国時代，エは鎌倉時代。

[問題]

次の表の①～⑥に適語を入れよ。また，a，b の場所を右の地図のア～エから選べ。



人物(開祖)	宗派	寺院	場所
(①)	(②)宗	高野山(③)寺	a
(④)	(⑤)宗	比叡山(⑥)寺	b

(補充問題)

[解答欄]

①	②	③	④
⑤	⑥	a	b

[解答]① 空海 ② 真言 ③ 金剛峯 ④ 最澄 ⑤ 天台 ⑥ 延暦 a ウ b ア

【】東アジアの変化

[遣唐使の停止]

[問題]

遣唐使の停止を提案した人物はだれか。次の[　　]から選べ。

[菅原道真　藤原純友　平清盛　坂上田村麻呂]

(香川県)

[解答欄]

[解答]菅原道真

[解説]

7 世紀の初めに隋(ずい)にかわって中国を統一した唐(とう)は，その後，発展をとげた。日本は遣唐使(けんとうし)を通じてその文化や政治制度を取り入れた。しかし，9 世紀後半には唐の勢力がおとろえ，もうそれ以上学び取るべきものは少なくなっていた。遣唐使に任命された菅原道真(すがわらのみちざね)は，894 年，唐のおとろえと往復の危険を理由に遣唐使停止(ていし)の建白(けんぱく)を出して承認された。(白紙(はくし)(894)に返せ遣唐使)

[遣唐使の停止]
894年：菅原道真 が建白
理由：唐のおとろえと往復の危険

菅原道真は，藤原氏をおさえるために天皇によって引き立てられた人であるが，その後，藤原氏の陰謀(いんぼう)によって大宰府(だざいふ)(福岡県)に左遷(させん)された。

※入試出題頻度：「菅原道真◎：遣唐使の停止○，894 年△」「唐のおとろえと往復の危険◎」

[問題]

遣唐使は，894 年に，(　X　)の意見により停止されそれ以降，派遣されなかった。X に当てはまる人物の氏名を書け。

(愛媛県)

[解答欄]

[解答]菅原道真

[問題]

次は菅原道真の建白書の一部である。文中の X に適する語句を答えよ。

(私が)唐にいる日本の僧から送られてきた報告書を見たところ，唐の国力の衰退している様子が書かれていました。報告の通りであれば，今後派遣される(　X　)にどのような危険が生じるかわかりません。長年続けてきた(X)を廃止するかどうか，審議し決定するようお願いします。

(栃木県)

[解答欄]

[解答]遣唐使

[問題]

次の文中の①には適する人物名を入れよ。また，②に当てはまる文を，当時の中国の王朝の状況に着目して，簡潔に書け。

遣唐使の派遣の停止は，(　①　)による提案がきっかけだと考えられている。(①)が遣唐使の派遣の停止を提案した主な理由は(　②　)ことにより，往復の航海で多くの危険をおかしてまで公的な使者を派遣する必要がないと考えたからである。

(群馬県改)

[解答欄]

①	②

[解答]① 菅原道真　② 唐が衰えた

[問題]

894 年に，日本から中国への使節の派遣を停止した。これについて，次の各問いに答えよ。

(1) 停止した使節を何というか。

(2) (1)の停止を進言した人物はだれか。

(3) (1)の停止の理由を「唐」「危険」という語句を用いて，説明せよ。

(補充問題)

[解答欄]

(1)	(2)	(3)

[解答](1) 遣唐使　(2) 菅原道真　(3) 唐のおとろえと往復の危険のため。

[宋・高麗]

[問題]

9～10 世紀ごろの中国のようすについて述べたものを，次のア～エから 1 つ選べ。

ア　清が成立し支配領域を広げた。

イ　漢が領土を広げ，西方との交通路も開かれた。

ウ　秦が中国を統一し，政治のしくみを整えた。

エ　唐の国内が乱れ，勢力が急速に衰えていった。

(富山県)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

中国では，唐の勢力が急速に衰えて 907 年に滅び，数十年の内乱の後，960 年に宋(そう)が国内を統一した。朝鮮半島では 936 年に高麗(こうらい)がおこり，やがて新羅(しらぎ)をほろぼした。日本は宋や高麗とは正式な国交を結ばなかったが，両国の商人が交易を行った。

[東アジアの変化]

894年　遣唐使の停止
907年　唐が滅ぶ
936年　高麗 が朝鮮半島を統一
960年　宋がおこる

[11世紀の東アジア]

※入試出題頻度：「宋△」「高麗△」

[問題]

次の文中の①，②のに適語を入れよ。

唐は 10 世紀のはじめにほろび，小国の分立を経て，(　①　)が中国を統一した。同じころ朝鮮半島には(　②　)がおこった。これらの国との公式な交流はなかったが，商人たちが日本に文物をもたらした。

(補充問題)

[解答欄]

①	②

[解答]① 宋　② 高麗

【】摂関政治と国風文化

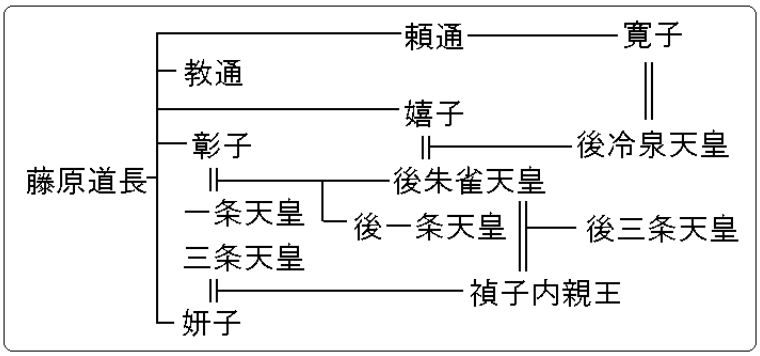
【】摂関政治

[藤原氏の勢力拡張方法]

[問題]

次の資料は藤原氏の系図の一部である。資料をもとに藤原氏が勢力をのばすためにとった手段について次のようにまとめた。①，②に適する語句を書け。

藤原氏は自分の娘を(　①　)とし，生まれた子どもを(　②　)にして勢力をのばした。



(福井県)

[解答欄]

①	②

[解答]① 天皇のきさき　② 天皇

[解説]

藤原氏は他の貴族をしりぞけて次第に権力をにぎっていったが，その秘訣は，自分の娘を天皇のきさきとすることであった。娘を天皇のきさきにし，その子を次の天皇に立てることで勢力をのばした。

[藤原氏の勢力拡張方法]
娘を天皇のきさきにし，その子を次の天皇に立てることで勢力をのばした。

藤原氏の全盛時代を築いた藤原道長は 4 人の娘をつぎつぎに皇后や皇太子妃として，30 年にわたって朝廷内で大きな権勢をふるった。

※当時の貴族社会では，子供は母方の家で育てられる習慣であった。天皇と藤原道長(など)の娘であるきさきとの間に生まれた男の子(将来の天皇)は，きさきの実家である藤原道長のもとで育てられたので，おじいさんである藤原道長は将来の天皇になるこの男の子にとって身近な存在となった。幼くして即位した場合，藤原道長がその後見役(摂政)になるのは自然の成り行きである。

※入試出題頻度 :「自分の娘を天皇のきさきにし，その子を次の天皇に立てることで勢力をのばした◎」

[問題]

藤原氏はどのようにして勢力をのばしたか。「娘」「天皇」「きさき」という語句を使って説明せよ。

(佐賀県改)

[解答欄]

[解答]自分の娘を天皇のきさきにし，生まれた子どもを次の天皇にして勢力をのばした。

[摂関政治]

[問題]

藤原道長の一族は，自分の娘を天皇のきさきとし，天皇が幼いときだけでなく，成人したあとも政治の実権を握った。このような政治のしくみを何というか，漢字で書け。

(富山県)

[解答欄]

[解答]摂関政治

[解説]

他の貴族(きぞく)をしりぞけて勢力をのばした藤原氏(ふじわらし)は，9 世紀後半には，天皇が幼いときは摂政(せっしょう)，成人してからは関白(かんぱく)の職につき，政治の実権をにぎるようになった。これを摂関政治(せっかんせいじ)という。

※入試出題頻度：「摂関政治◎」「天皇が幼いときは摂政◎，成人してからは関白◎」

[藤原氏の 摂関政治]
天皇が幼いときは 摂政
天皇が成人すると 関白

[問題]

次の文中の①，②に適語を入れよ。

藤原氏は娘を天皇のきさきにし，その子を天皇に立て，天皇が幼いときは(　①　)，成人したのちは(　②　)という職について政治を動かした。

(茨城県)

[解答欄]

①	②

[解答]① 摂政　② 関白

[問題]

平安時代の摂関政治について述べた次の文中の①，②の(　　)内からそれぞれ適語を選べ。

政治の実権を握った①(蘇我／藤原)氏は，たくみに他の貴族を退けながら，娘を天皇のきさきにし，その子を次の天皇に立てて，②(摂政／上皇)や関白となり勢力を伸ばした。

(島根県)

[解答欄]

①	②

[解答]① 藤原　② 摂政

[問題]

藤原道長とその子頼通のときに最もさかんであった政治のしくみについて，「天皇」「関白」の 2 つのことばを用いて書け。

(岡山県)

[解答欄]

[解答]天皇が幼いときは摂政，成長すると関白の職について，政治の実権をにぎり，天皇にかわって政治を動かす摂関政治であった。

[摂関政治の最盛期]

[問題]

摂関政治が行われていた時代に，4 人の娘を天皇のきさきにし，「この世をば　わが世とぞ思ふ　もち月の　かけたることも　なしと思へば」という歌をよんだ人物は誰か。

(和歌山県)

[解答欄]

[解答]藤原道長

[解説]

藤原氏は 11 世紀ころ，藤原道長(ふじわらのみちなが)とその子藤原頼通(ふじわらのよりみち)の時代に全盛期(ぜんせいき)を迎えた。藤原道長は 4 人の娘をつぎつぎに皇后(こうごう)や皇太子妃(こうたいしひ)とし，30 年にわたって権勢(けんせい)をふるった。(威令広(いれいひろ)(1016)まる道長さん)　道長は，娘の一人を天皇のきさきとすることに成功したとき，自分の権勢(けんせい)が絶頂期(ぜっちょうき)にあるうれしさを「この世をばわが世とぞ思う望月(もちづき)の欠けたることも無しと思えば

[摂関政治の最盛期]
11世紀に最盛期
藤原道長
「この世をばわが世とぞ思う
望月の欠けたることも無しと思えば」
藤原頼通

（この世は私のためにあるようなものだ。満月の欠けたところがないように私の思うようにならない事は一つも無い）」という歌で表している。藤原道長の子である頼通(よりみち)は，3 天皇 50 年間にわたって摂政・関白をつとめ，我が世の栄華(えいが)を楽しんだ。
※入試出題頻度：「11 世紀△」「藤原道長◎」「この世をばわが世とぞ思う望月の欠けたることも無しと思えば○」「藤原頼通○」

[問題]
　次の文の①に当てはまることばを漢字 2 字で書け。また，②に当てはまる人の名を書け。
　藤原氏は，自らの娘を天皇のきさきとし，生まれた子を天皇に立てて，天皇が幼いときには摂政，成人したのちには(　①　)の職について，天皇にかわって政治を行った。このような政治は，11 世紀前半の藤原道長と，その子である藤原(　②　)のころに，全盛期をむかえた。
(北海道)
[解答欄]

①	②

[解答]① 関白　② 頼通

[問題]
　「天下の荘園はことごとく摂関家のもので，公領は錐(きり)を立てるわずかな土地ほどもないのか。悲しい世である。」(小右記より部分要約)　この資料の内容と最もかかわりのあるものを，次のア～エから 1 つ選び，記号を書け。
ア　聖武天皇のころの朝廷
イ　道長や頼通のころの藤原氏
ウ　清盛のころの平氏
エ　義満のころの足利氏
(長野県)
[解答欄]

[解答]イ

[問題]
　次の各問いに答えよ。
(1) 摂関政治が行われたのは何時代か。
(2) (1)の時代，都に住んで，天皇とともに政治・文化の中心となっていたのはどんな身分の人々か。

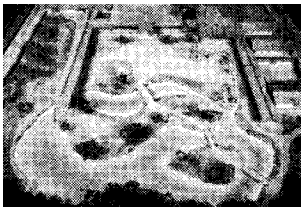
(徳島県・福井県)

[解答欄]

(1)	(2)

[解答](1) 平安時代　(2) 貴族

[問題]



右図は東三条殿という寝殿造の邸宅を復元した模型である。東三条殿は，摂政や関白などの地位について権力をもっていた貴族の邸宅であるが，その貴族とは何氏か。

(神奈川県)

[解答欄]

[解答]藤原氏

[地方政治の乱れ]

[問題]

次の文は，律令制度に大きな変化がみられた平安時代の中ごろのようすを説明したものである。文中の①，②にあてはまる語句を書け。

(　①　)氏が摂政や関白となって天皇の代わりに政治を行うころには，班田収授の実施は困難になっていた。また，このころ地方の政治は，都から派遣された(　②　)とよばれる役人に任せられていたため，彼らの中には不正に税を取り立てて財産をたくわえる者もあらわれた。

(徳島県)

[解答欄]

①	②

[解答]① 藤原　② 国司

[解説]

藤原氏の摂関政治が行われていたころ，地方の政治は国司に任せきりになっていた。国司の中には，取り立てた税のうち，一部を朝廷に納め，残りは自らの収入にする者も多かった。また，任命された国に代理人を送って，収入を得るだけの国司が多くなり，地方の政治は次第に乱れていった。

※入試出題頻度：「国司に地方の政治を任せる△→地方政治が乱れる△」

[問題]

藤原氏を中心に摂関政治が行われた頃の社会の様子に関して述べた次の文 X, Y について，その正誤の組み合わせとして適切なものを，後のア～エから 1 つ選び，その記号を書け。

X　国司の中には，現地に行かずに代理を送り，収入だけを得る者が多くなり，地方の政治は乱れた。

Y　牛や馬を使用した耕作や，米と麦などの二毛作が広まり，農業の生産力が高まった。

ア X・正，Y・正　　イ X・正，Y・誤

ウ X・誤，Y・正　　エ X・誤，Y・誤

(奈良県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

アは正しい。牛や馬を使用した耕作や，米と麦などの二毛作が広まったのは鎌倉～室町時代なのでイは誤り。

[問題]

遣唐使が廃止された 9 世紀後半の日本の地方の様子として最も適切なものを，次のア～エから 1 つ選び，記号を書け。

ア　国司が，取り立てた税を自分の収入にするなどして，地方の政治は乱れていった。

イ　中央から派遣された国司が，地方豪族を監督し，地方を支配するしくみが整備された。

ウ　九州地方全体の政治のほか，外交や防衛も行う大宰府が設置された。

エ　同じ田畑で米と麦を交互に作る二毛作が始まり，農作物の収穫量が増えた。

(富山県)

[解答欄]

[解答]ア

[解説]

イ，ウは奈良時代である。エは鎌倉時代である。

[問題]

　わが国では，10 世紀に入ると，地方を支配するしくみが大きく変わった。それはどのように変わったのか。「国司」という語句を用いて，簡単に書け。

(香川県)

[解答欄]

[解答]地方の政治は，国司にほとんど任されるようになった。

【】国風文化

[国風文化]

[問題]

　平安時代半ばごろから，唐の文化をもとにしながらも，日本の風土や生活，日本人の感情にあった文化が生み出された。この文化は何とよばれるか。

(静岡県)

[解答欄]

[解答]国風文化

[解説]

平安時代半ばの貴族たちは，唐風(とうふう)の文化をふまえながらも，日本の風土や生活，日本人の感情に合った文化を生み出していった。これを国風文化(こくふう)という。

国風文化のなかで一番重要なのは，わが国独自の仮名(かな)文字が発明されたことである。それまで，文章は漢字を用いて漢文で書くか，万葉仮名(まんようがな)のように漢字の音を借用して書き表すよりほかなかった。例えば，「から衣　すそに取りつき　泣く子らを　置きてぞ来ぬや　母なしにして」という万葉集に収められている防人(さきもり)の歌は，もともと万葉仮名で「可良己呂武(からころむ) 須宗(すそ)･･･」と書き表されるが，これは書くのも読むのも大変であった。そこで，漢字の一部をとって片仮名(かたかな)が作られ，万葉仮名に使われた漢字のくずし字から平仮名(ひらがな)が作られた。平仮名はおもに女性の間で使われた。仮名文字は，それまでの漢文と違って，細やかな感情をそのまま書き表すことを容易にし，文学の発達をもたらした。

[国風文化]
日本の風土や生活，
日本人の感情に合った文化
仮名文字(片仮名,平仮名)

※入試出題頻度：「国風文化◎」「日本の風土や生活，日本人の感情に合った文化○」「仮名文字◎」「漢字の一部→片仮名△」「漢字のくずし字→平仮名△」

[問題]

　良二君は，遣唐使が停止された時代の文化について調べた。この文化の説明として最もよく当てはまるものを，次のア～エから１つ選び，記号で答えよ。

ア　渡来人によって，漢字や儒学の書物，仏教などの大陸の文化が伝えられた。

イ　唐風の文化をふまえながらも，日本の風土や生活，日本人の感情に合った文化が栄え，優れた文学作品が生まれた。

ウ　武士や民衆の力による素朴で力強い文化が生まれ，新しい仏教の教えが広まった。

エ　書画や生け花をかざる床の間を設けた書院造など現代につながる文化がつくられた。

(大分県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

アは古墳時代，イは平安時代の国風文化，ウは鎌倉時代の文化，エは室町時代の文化である。

[問題]

　平安時代の中ごろ，国風文化といわれる文化が栄えた。この国風文化とはどのような文化か。「唐風」「風土や生活」という語句を用いて説明せよ。

(青森県)

[解答欄]

[解答]唐風の文化をふまえながらも，日本の風土や生活，日本人の感情に合った文化。

[問題]

　漢字から(　X　)がつくられるようになり，感情や心の変化をあらわしやすくなった。そして，それを使った物語や日記などのすぐれた文学作品が生まれた。文中のXに適語を入れよ。

(長野県)

[解答欄]

[解答]仮名文字

[問題]

　次の文は，すぐれた文学作品が平安時代に多くつくられた主な理由について述べたものである。(　　)に当てはまる適切な語句を書け。

　漢字をくずしてつくられた(　　)や漢字の一部を省略してつくられた片仮名を用いて，人々の感情を表すことが容易になったため。

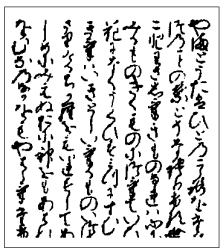
(奈良県)

[解答欄]

[解答]平仮名

[問題]

右の資料には，文化の国風化が進んだ際に発達した日本独自の文字がみられる。この文字がつくられるもととなった文字は何か，書け。



(石川県)

[解答欄]

[解答]漢字

[問題]

国風文化が最も栄えたのは，藤原氏による(摂関政治／建武の新政／院政)のころであった。文中の(　　)内より適語を選べ。

(北海道)

[解答欄]

[解答]摂関政治

[源氏物語・枕草子・古今和歌集]

[問題]

次の文中の①，②の(　　)内より適語を選べ。

10～11 世紀，文化の国風化が進んだ。その代表的な例としては，①(漢字／仮名文字)が発達し，普及した。(①)を用いた②(源氏物語／日本書紀)などの文学作品も生まれた。

(秋田県)

[解答欄]

①	②

[解答]① 仮名文字　② 源氏物語

[解説]

仮名文字は，それまでの漢文と違って，細やかな感情をそのまま書き表すことを容易にし，文学の発達をもたらした。小説では紫式部(むらさきしきぶ)の源氏物語(げんじものがたり)，随筆では清少納言(せいしょうなごん)の枕草子(まくらのそうし)が名高い。和歌では，紀貫之(きのつらゆき)が編集した古今和歌集(こきんわかしゅう)がある。

[仮名文字→すぐれた文学作品]
- 源氏物語　紫式部
- 枕草子　清少納言
- 古今和歌集　紀貫之らが編集

※入試出題頻度：「源氏物語◎：紫式部◎」「枕草子◎：清少納言◎」「古今和歌集◎・紀貫之△」

[問題]

唐風の文化をもとに，日本の生活などに合った国風文化という独自の文化が生まれた。その中で，紫式部は，貴族社会を描いた長編小説である(枕草子／古事記／徒然草／源氏物語)を，漢字を書き崩して日本語の音を表した仮名文字で書き上げた。文中の(　　)から適語を選べ。

(千葉県)

[解答欄]

[解答]源氏物語

[問題]

①仮名文字を使って光源氏を主人公とする長編小説を書き，藤原氏が栄えた平安時代の貴族社会を描いたのは誰か。②その長編小説の名前を答えよ。

(鳥取県・佐賀県)

[解答欄]

①	②

[解答]① 紫式部　② 源氏物語

[問題]

仮名文字を用いて書かれた文学作品はどれか，[　　]の中からすべて選べ。

[古事記　源氏物語　枕草子　日本書紀]

(京都府)

[解答欄]

[解答]源氏物語，枕草子

[問題]

平安時代には国風文化が栄え，紫式部の「源氏物語」や清少納言の(　　)などの文学作品が生まれた。(　　)に適語を入れよ。

(鹿児島県)

[解答欄]

[解答]枕草子

[問題]

「枕草子」の作者の名を漢字で書け。

(岐阜県)

[解答欄]

[解答]清少納言

[問題]

次の文中の①，②の(　　)内からそれぞれ適語を選べ。

平安時代には，唐風の文化を，わが国の貴族の生活や好みに合わせようとする工夫がなされ，独自の文化である①(天平文化／国風文化)が生まれた。また，漢字から，仮名文字を作り出し，②(万葉集／古今和歌集)などのすぐれた文学作品が生まれている。

(新潟県)

[解答欄]

①	②

[解答]① 国風文化　② 古今和歌集

[解説]

万葉集は奈良時代の和歌集である。

[問題]

古今和歌集が編さんされた時代の文化は何と呼ばれているか。次の[　　]から１つ選べ。

[桃山文化　鎌倉文化　国風文化　天平文化]

(大阪府)

[解答欄]

[解答]国風文化

[問題]

次のア～エのうち，国風文化について述べたものとしてあてはまらないものはどれか。１つ選んで，その記号を書け。

ア　紀貫之らによって，「古今和歌集」が編集された。

イ　天皇や貴族だけでなく，防人や農民の歌もおさめた「万葉集」が編集された。

ウ　紫式部によって，「源氏物語」が書かれた。

エ　清少納言によって，「枕草子」が書かれた。

(香川県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

イの万葉集は奈良時代の和歌集である。

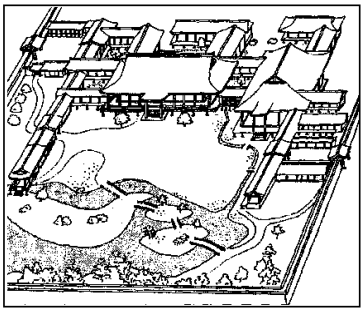
[寝殿造など]

[問題]

次の各問いに答えよ。

(1) 右の図は，代表的な貴族の住居である。何造と呼ばれるものか。

(2) 平安時代にさかんにえがかれた絵を何というか。



(群馬県改)

[解答欄]

(1)	(2)

[解答](1) 寝殿造　(2) 大和絵

[解説]

貴族は，美しい自然を庭園に取り入れた寝殿造(しんでんづくり)の邸宅(ていたく)に住んだ。絵画にも日本の風景や人物がえがかれるようになり，大和絵(やまとえ)と呼ばれた。

※入試出題頻度：「寝殿造△」「大和絵△」

[問題]

「国風文化」について説明したものを 2 つ選べ。

ア　「古事記」や「日本書紀」などの歴史書がつくられた。

イ　紫式部によって，「源氏物語」が書かれた。

ウ　東大寺南大門の金剛力士像がつくられた。

エ　貴族の住居として，寝殿造の邸宅が建てられた。

(神奈川県)

[解答欄]

[解答]イとエ

[解説]

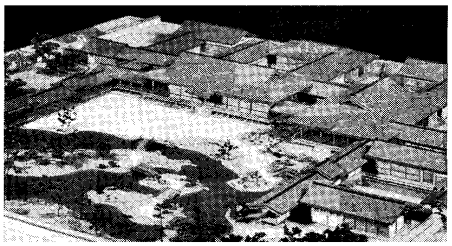
アは奈良時代，ウは鎌倉時代の文化である。

[問題]

遣唐使停止の後に日本では文化の国風化が進んだが，国風文化の特徴を示すものとして適当でないものを，次のア～エから１つ選んで記号で答えよ。

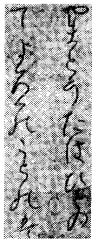
ア

イ



ウ

エ



(島根県)

[解答欄]

[解答]ア

[解説]

アは奈良時代の正倉院(しょうそういん)におさめられている漆胡瓶(しっこへい)。イは寝殿造(しんでんづくり)，ウは「源氏物語絵巻」，エは「仮名文字」で，国風文化の特徴を示している。

[問題]

次のア～ウのことがらを，年代の古い順に並べ，符号で書け。

ア　かな文字で書かれた優れた文学作品である「源氏物語」や「枕草子」が生まれた。

イ　最澄は，比叡山に延暦寺を建てて天台宗を広めた。

ウ　聖武天皇と光明皇后は，仏教の力にたよって国家を守ろうと，都に東大寺を建てた。

(岐阜県)

[解答欄]

[解答]ウ→イ→ア

[解説]

ウ(奈良時代)→イ(平安初期)→ア(平安中期：国風文化)

【】浄土信仰

[問題]

右の建物は，阿弥陀仏にすがって，死後に極楽(　X　)に生まれ変わることを願う(X)信仰を背景として，藤原頼通が宇治に建立したものである。文中のXに適語を入れよ。

(岡山県)

[解答欄]

[解答]浄土

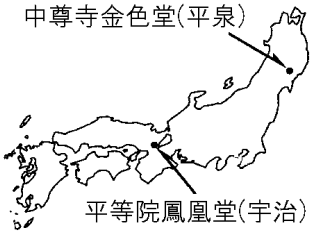
[解説]

平安時代中ごろ，盗賊(とうぞく)の横行(おうこう)など社会が乱れた。このころ，シャカの死後 2000 年から末法(まっぽう)の世になるという末法思想(まっぽうしそう)が広まり，阿弥陀如来(あみだにょらい)にすがって念仏(ねんぶつ)を唱(となな)えれば極楽浄土(ごくらくじょうど)に生まれ変わることができるという浄土信仰(じょうどしんこう)が，不安をつのらせた貴族や庶民(しょみん)の心をとらえた。藤原頼通(ふじわらのよりみち)は，この世に極楽浄土のようすを表そうとして，宇治(うじ)(現在の京都府宇治市)に寝殿造(しんでんづくり)の平等院鳳凰堂(びょうどういんほうおうどう)(右図)を建てた。また，奥州藤原氏は平泉(ひらいずみ)に中尊寺金色堂(ちゅうそんじこんじきどう)を建てた。

[浄土信仰]
念仏，極楽浄土，末法思想

平等院鳳凰堂(宇治)：藤原頼通
中尊寺金色堂(平泉)：奥州藤原氏

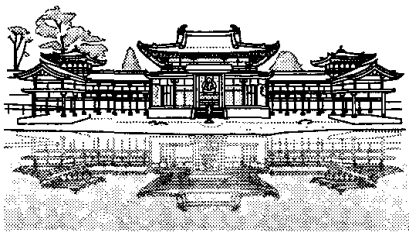
(平等院鳳凰堂)



※入試出題頻度：「浄土信仰◎：末法思想△，念仏△，極楽浄土△，阿弥陀如来△」「平等院鳳凰堂◎：藤原頼通◎」「中尊寺金色堂◎：奥州藤原氏○，平泉△」

[問題]

右図は，阿弥陀如来像を納めた，平安時代の代表的な建造物である。図が建造されたころ，阿弥陀如来にすがれば，死後に極楽へ生まれ変わることができるという信仰が広まっていた。この信仰は何とよばれるか。その名称を書け。



(静岡県)

[解答欄]

[解答]浄土信仰

[問題]

平安時代の初めには，最澄と空海が①(宋／唐)で学んだ新しい仏教の教えを日本に伝えた。その後，日本では国風文化が広まった。また，②(念仏／題目)を唱えて阿弥陀仏にすがり，死後に極楽浄土に生まれ変わることを願う浄土信仰が広まり，中尊寺金色堂のような寺院が建てられた。

(茨城県)

[解答欄]

①	②

[解答]① 唐　② 念仏

[問題]

平安時代，社会が不安定になると，(　　X　　)，阿弥陀如来に救いを求め，極楽浄土へ生まれ変わることを願う浄土信仰が広まった。文中の X にあてはまる適切な内容を，次のアからエまでの中から 1 つ選べ。

ア　祈とうをすることによって

イ　座禅をすることによって

ウ　念仏をとなえることによって

エ　題目をとなえることによって

(滋賀県)

[解答欄]

[解答]ウ

[問題]

右図は藤原頼通によって建てられた建造物である。図の建造物が建てられたころの日本のようすについて述べた文を，次のア～ウの中から 1 つ選び，記号で答えよ。

ア　禅宗などの，わかりやすく実行しやすい新しい仏教の教えが，民衆や武士の間に広まった。

イ　世の中が乱れ，極楽浄土に生まれかわることを願う浄土信仰が人々の心をとらえた。

ウ　仏教の力で国家を守ろうと考えた天皇が，国ごとに国分寺を建て，都に金銅の大仏を造った。

(静岡県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

アは鎌倉時代。ウは奈良時代。

[問題]

右の写真のような阿弥陀如来像がさかんにつくられた背景として最も適当なものを，次のア～エから 1 つ選んで記号で答えよ。

ア　法隆寺などの寺院が，豪族の権威を象徴するものとして建てられた。

イ　仏教の力で国を守るため，国ごとに国分寺や国分尼寺が建てられた。

ウ　社会不安が高まり，死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う浄土信仰がおこった。

エ　宋にわたった栄西や道元が，座禅によって自分の力でさとりを得ようとする禅宗を伝えた。

(鳥取県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

アは飛鳥時代，イは奈良時代，ウの浄土信仰は平安後期，エは鎌倉時代。

[問題]

右の資料は，11 世紀に貴族によって建てられた，浄土信仰の代表的な仏教寺院である。浄土信仰とは何か，「阿弥陀仏」という語を用いて書け。

(山形県)

[解答欄]

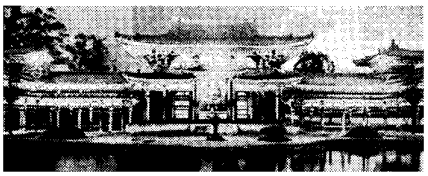
[解答]阿弥陀仏にすがって死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う信仰。

[問題]

右の歴史的建造物の名称を，次から選べ。

[銀閣寺　正倉院　日光東照宮　平等院鳳凰堂]

(青森県)



（摂関政治全盛期の建物）

[解答欄]

[解答]平等院鳳凰堂

[問題]

藤原道長の子である頼通は極楽浄土の姿を表した(　X　)を宇治に造営した。X に当てはまる建造物の名前を答えよ。

(千葉県)

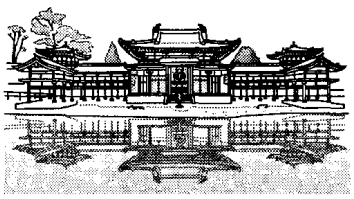
[解答欄]

[解答]平等院鳳凰堂

[問題]

右の写真 A，B のうちのどちらかは，阿弥陀仏(阿弥陀如来)にすがる浄土信仰が広まった時期の建築物である。この時期の建造物とそれを建てた人物の組み合わせとして，最も適切なものを，次のア～エから 1 つ選び，記号で答えよ。

写真A



写真B

ア　写真 A－藤原頼通　　イ　写真 A－足利義政

ウ　写真 B－藤原頼通　　エ　写真 B－足利義政

(鳥取県)

[解答欄]

[解答]ア

[問題]

平安時代に創建されたものとして，最も適切なものを，次の[　　]から 1 つ選べ。

[法隆寺　正倉院　平等院鳳凰堂　東大寺南大門]

(宮城県)

[解答欄]

[解答]平等院鳳鳳堂

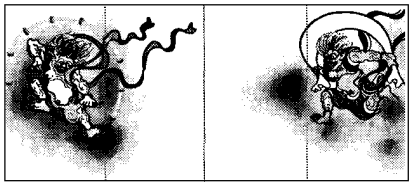
[解説]

法隆寺は飛鳥時代，正倉院は奈良時代，平等院鳳鳳堂は平安時代である。東大寺南大門は奈良時代につくられ，鎌倉時代に再建された。

[問題]

奈良時代と平安時代につくられたものとして適当なものを，次のア～エからそれぞれ 1 つずつ選び，記号で答えよ。

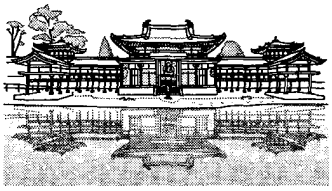
ア



イ

ウ

エ



(熊本県)

[解答欄]

奈良時代：	平安時代：

[解答]奈良時代：イ　平安時代：エ

[解説]

アは江戸時代，イは奈良時代，ウは飛鳥時代，エは平安時代である。

[問題]

金や馬などの産物によって栄えた豪族の奥州藤原氏が，浄土へのあこがれから平泉の中尊寺につくった建物を何というか。

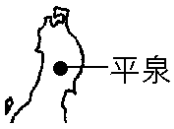
(栃木県)

[解答欄]

[解答]中尊寺金色堂

[解説]

11 世紀末から 12 世紀にかけて，東北地方の平泉(ひらいずみ)を根拠地(こんきょち)に奥州(おうしゅう)藤原氏が勢力をふるった。中尊寺金色堂(ちゅうそんじこんじきどう)は，浄土(じょうど)へのあこがれから平泉の中尊寺につくった阿弥陀堂(あみだどう)で，建物の各所に金ぱくをほどこし，この時期の繁栄を象徴している。

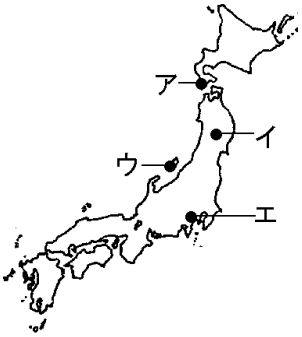


[問題]

次の各問いに答えよ。

(1) 中尊寺金色堂を建て，平泉を中心に栄えた一族は何氏か。

(2) 中尊寺金色堂のある平泉の場所を，地図中のア～エから1つ選び，記号で答えよ。



(山口県・石川県)

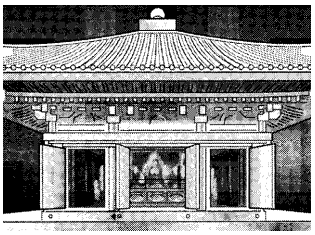
[解答欄]

(1)	(2)

[解答](1) 奥州藤原氏　(2) イ

[問題]

右図は，岩手県平泉町にある世界遺産の一つである。これが建てられたころに行われた貿易では，奥州藤原氏が支配していた地域から産出された鉱産資源が輸出品となった。その鉱産資源は何か。



(岩手県)

[解答欄]

[解答]金

[問題]

平安時代における日本の仏教及び仏教の影響を受けた文化について説明したものとして最も適するものを，次のア～エの中から1つ選び，その記号を答えよ。

ア　日蓮は，「南無妙法蓮華経」と題目を唱えれば人も国も救われると説いた。

イ　禅宗の僧侶が中国からもたらした水墨画がさかんになり，雪舟が名作を残した。

ウ　平泉を拠点とする奥州藤原氏によって，中尊寺金色堂が建てられた。

エ　飛鳥地方を中心に，日本で最初の仏教文化がおこった。

(神奈川県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

アは鎌倉時代，イは室町時代，ウは平安時代，エは飛鳥時代である。

【】武士・院政・平清盛

【】武士の成長

[問題]

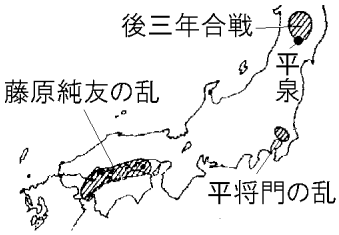
10 世紀中ごろ，関東では(　X　)が，瀬戸内海では藤原純友が反乱をおこした。朝廷は，地方の武士の力をかりて，この 2 つの反乱をおさえることができた。文中の X に適語を入れよ。

(栃木県)

[解答欄]

[解答]平将門

[解説]



[武士の成長]
935年 平将門 の反乱
939年 藤原純友 の反乱
1051年 前九年合戦
1083年 後三年合戦
源義家がしずめる
奥州藤原氏: 平泉, 中尊寺金色堂

10 世紀の半ば，東西で武士の反乱が起こった。関東では，935 年に平将門(たいらのまさかど)が国府を襲(おそ)い，自ら新皇(しんのう)(新しい天皇)と名のり，一時期，関東地方の大半を支配した(組み込む(935)大軍平将門の乱)。また，瀬戸内では藤原純友(ふじわらのすみとも)が海賊(かいぞく)を率(ひき)いて，国府や大宰府(だざいふ)をおそった。朝廷は，他の武士団の力をかりてこの 2 つの反乱をようやくしずめることができた。

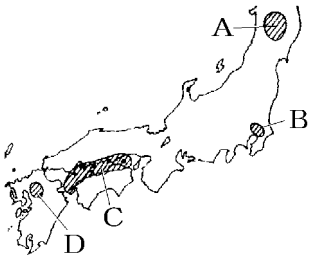
東北では，蝦夷(えみし)の子孫である阿倍氏(あべし)や清原氏(きよはらし)が力をのばしていたが，11 世紀の後半に，かれらの勢力争いで前九年合戦(ぜんくねんかっせん)・後三年合戦(ごさんねんかっせん)が起こった。朝廷から派遣(はけん)された源義家(みなもとのよしいえ)が，関東の武士を率いてこれをしずめたので，源氏の武士団は東日本で大きな勢力となっていった。

後三年合戦以降，陸奥(むつ)・出羽(でわ)地方を支配したのは奥州藤原氏(おうしゅう)であった。奥州藤原氏は，平泉(ひらいずみ)を根拠地(こんきょち)として栄え，浄土信仰(じょうどしんこう)の影響を受けた中尊寺金色堂(ちゅうそんじこんじきどう)を建てた。12 世紀前半には瀬戸内海の海賊をしずめた平氏が西日本に勢力をのばした。

※入試出題頻度：「平将門◎：関東(地図)△」「藤原純友◎：瀬戸内(地図)△」
「前九年・後三年合戦△：源義家△」「奥州藤原氏○：平泉△，中尊寺金色堂○」

[問題]

次の①～③の，武士による戦いが起こった地域を右の地図中 A～D からそれぞれ選び，記号で書け。



①　平将門の乱

②　藤原純友の乱

③　後三年合戦

(補充問題)

[解答欄]

①	②	③

[解答]① B　② C　③ A

[問題]

次の文は，地方での武士の動きについて述べたものである。①～③にあてはまる人物名を答えよ。

10 世紀の中頃，関東では(　①　)が，瀬戸内海周辺では(　②　)が地方の武士団を率いて反乱をおこした。11 世紀には，東北地方での大きな反乱をしずめた源氏の(　③　)が東日本に勢力を広げた。

(徳島県改)

[解答欄]

①	②	③

[解答]① 平将門　② 藤原純友　③ 源義家

[問題]

平将門は，まわりの武士を率いて中央政府に対して反乱をおこし，武士の力を示した。その当時の中央政府ではどのような政治が行われていたか，次から 1 つ選べ。

[執権政治　院政　藩閥政治　摂関政治]

(山形県)

[解答欄]

[解答]摂関政治

[問題]

奥州藤原氏は，金や馬などの売買により富を蓄え，中尊寺金色堂を建てるなど，約 100 年間にわたり繁栄した。次のア～エのうち，奥州藤原氏について述べた文はどれか。1 つ選び，記号を書け。

ア　自由に商工業ができるように，城下で楽市・楽座を実施した。

イ　朝廷から征夷大将軍に任じられ鎌倉で武士による政治を行った。

ウ　平泉を中心地として栄えていたが，源頼朝により攻め滅ぼされた。

エ　娘を天皇のきさきにし，その子を天皇の位につけて政治の実権を握った。

(大阪府)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

アの「楽市・楽座」は織田信長の政策である。

イは源頼朝で，鎌倉時代である。

エは藤原氏の摂関政治である。

【】院政・源氏と平氏

[問題]

平安時代の末期，白河天皇は位をゆずって上皇となったのち，摂政や関白の力をおさえて政治を行った。この政治を何というか，その名称を書け。

(埼玉県)

[解答欄]

[解答]院政

[解説]

11 世紀後半には，藤原氏などの貴族の荘園が増加していた。1068 年に藤原氏との関係がうすい後三条天皇が即位し，荘園の整理などを行った。

その後を継いだ白河天皇は東国に勢力をもつ源氏と，西国に勢力をのばした平氏を用いて，新しい政治を行った。白河天皇は，1086 年に位を幼い皇子にゆずって上皇になってからも政治の実権をにぎり，藤原氏に不満をもつ下級貴族等の支持を受けて，摂政・関白をおさえて院政を行った。白河上皇や，その次の鳥羽上皇は新しい荘園を認める強い力を持ったので，多くの荘園が上皇に寄進された。上皇は寺社を厚く保護したので，寺社も多くの荘園を持ち，武装する僧(僧兵)をかかえて勢力を広げていった。

[院政]
1068年　後三条天皇 即位
（藤原氏と血縁がうすい）
1086年　白河上皇 が 院政 を始める
天皇が位をゆずって上皇となった後も，政治の実権をにぎるしくみ
多くの荘園，寺社を保護(僧兵)

※入試出題頻度：「後三条天皇△」「白河上皇○：院政◎(天皇が位をゆずって上皇となった後も，政治の実権をにぎるしくみ○)」「僧兵△」

[問題]

11 世紀の後半，(桓武天皇／聖武天皇／白河天皇／後三条天皇)は，位をゆずって上皇となった後も，上皇の御所である院でみずからが政治を行い，院政を始めた。文中の(　　)内より適語を選べ。

(秋田県)

[解答欄]

[解答]白河天皇

[問題]

次の文中の①，②に適語を入れよ。

白河天皇は天皇の位を 8 歳の子にゆずって(　①　)となり，院と呼ばれる御所に住んだ。そして，院に移ったあとも政治の実権をにぎった。(①)が動かす朝廷の政治を(　②　)という。

(福井県改)

[解答欄]

①	②

[解答]① 上皇　② 院政

[問題]

院政とはどのような政治か。「天皇」という語を用いて，簡潔に書け。

(和歌山県)

[解答欄]

[解答]天皇が位をゆずって上皇となった後も，政治の実権をにぎるしくみ。

[問題]

平安時代，寺社は，上皇に保護されたので多くの荘園をもち，武装する僧をかかえて勢力を広げた。下線部の僧を何というか。

(青森県)

[解答欄]

[解答]僧兵

[問題]

次のア～ウを年代の古い順に並べ，その記号を左から順に書け。

ア　大宝律令が制定された。

イ　白河上皇の院政がはじまった。

ウ　藤原道長が摂政となった。

(長崎県)

[解答欄]

[解答]ア→ウ→イ

[解説]

ア(701 年)→ウ(1016 年)→イ(1086 年)

[保元の乱・平治の乱]

[問題]

平氏が勢力を大きくのばすきっかけとなったできごとを，次から 1 つ選べ。

[承久の乱　平治の乱　平将門の乱　壇ノ浦の戦い]

(秋田県)

[解答欄]

[解答]平治の乱

[解説]

上皇が力を持つと，それに不満を持つ天皇もあらわれた。崇徳(すとく)上皇と後白河(ごしらかわ)天皇の対立が起こり，これに藤原氏一族の争いが結びついて，1156 年に，保元(ほうげん)の乱(らん)が起きた(いいころ(1156)に起こった保元の乱)。

[保元の乱･平治の乱]
1156年　保元の乱(天皇と上皇の対立)
1159年　平治の乱(平清盛と源義朝の対立)

上皇も天皇も，平氏と源氏の軍を集めて戦った。天皇方が院へ夜討ちをかけ，数時間の戦いで勝った。その結果，後白河天皇方についた平清盛(たいらのきよもり)と源義朝(みなもとのよしとも)が勢力を強めた。

しかし，この 2 人はその後対立を深め，1159 年，義朝が清盛を討とうとして敗れ，義朝の子頼朝(よりとも)は伊豆(いず)に流された。これを平治(へいじ)の乱という。戦いに勝った平清盛は，1167 年，武士としてはじめて太政大臣(だいじょうだいじん)となり政治の実権をにぎった。(いちいち無理な(1167)清盛さん)

※入試出題頻度：「保元の乱△」「平治の乱△」

[問題]

右の年表について，次の各問いに答えよ。

(1) 年表のア，イに適語を入れよ。

(2) 次の①，②の文は年表中の A，B のどちらとかかわりが深いか。それぞれ，A，B のいずれかの記号で答えよ。

　① 武士の棟梁同士の対立と，藤原氏一族の対立から起こった。

　② 天皇と上皇の対立から起こった。

年代	おもなできごと
1086 年	白河上皇が院政を始める。
1156 年	(　ア　)の乱がおこる。･･･A
1159 年	(　イ　)の乱がおこる････B
1167 年	平清盛が太政大臣となる。

(補充問題)

[解答欄]

(1)ア	イ	(2)①	②

[解答](1)ア　保元　イ　平治　(2)①　B　②　A

[問題]

令子さんは，保元の乱や平治の乱について調べたことを次のメモにまとめた。X に当てはまる言葉を，簡潔に書け。

(　　X　　)を解決するために動員された武士は，中央の政治に大きな影響力をもつようになった。

(奈良県)

[解答欄]

[解答]朝廷内の権力争い

[問題]

源氏と平氏がかかわった保元の乱と平治の乱をきっかけとして，政治権力の担い手がどのように変化したかを説明せよ。

(福井県)

[解答欄]

[解答]武士が政治の上で大きな力をふるうようになった。

【】平清盛の政治

[問題]

1167 年，武士として初めて太政大臣になった(　X　)は，一族を高い位につけ，権力をふるった。また，港を整備して宋との貿易を行い，多くの利益をあげた。文中の X 内に入れる適語を答えよ。

(栃木県)

[解答欄]

[解答]平清盛

[解説]

平治(へいじ)の乱に勝利をおさめた平清盛(たいらのきよもり)は，1167 年，武士としてはじめて太政大臣(だいじょうだいじん)となり政治の実権をにぎった。(いちいち無理な(1167)清盛さん)

[平氏の政治]
1167年 平清盛 が 太政大臣 となる
兵庫の港を整備→ 宋 との貿易
娘を天皇のきさきとし，その子を天皇にして朝廷の中で実権をにぎった

平清盛は，兵庫(ひょうご)(現在の神戸市)の港を整備して，中国の宋(そう)との貿易を行い大きな利益を得た。平氏は，航海の安全を守るため，厳島神社(いつくしまじんじゃ)をたびたび参詣(さんけい)した。

清盛は，娘を天皇のきさきとし，その子を天皇にして朝廷の中で実権をにぎった。平氏一族で高い官職を独占し，多くの公領(こうりょう)や荘園(しょうえん)を支配した。そのやり方は貴族とかわらないものであったため，貴族や寺社の反感をかい，地方の武士の中にも不満をいだく者が増えた。こうした中，清盛が後白河上皇の院政を停止させると，源氏を中心とする諸国の武士が兵を挙(あ)げた。清盛の死後，1185 年に現在の山口県で起こった壇ノ浦(だんのうら)の戦いで平氏は滅んだ。

※入試出題頻度 :「平清盛◎」「太政大臣◎」「娘を天皇のきさきとし，その子を天皇にして朝廷の中で実権をにぎった◎」「宋との貿易◎」「兵庫(現在の神戸)(地図)〇」

[問題]

平清盛は 1167 年，武士としてはじめて(太政大臣／摂政／大王／関白)の地位につき，中国との貿易による利益を得るため，兵庫の港(大輪田泊)を整備した。文中の(　　)内より適語を選べ。

(新潟県)

[解答欄]

[解答]太政大臣

[問題]

平清盛は，瀬戸内海の航路や港を整備して盛んに貿易を行い，みずからの重要な経済的基盤とした。この貿易を何というか，[　　]から１つ選べ。

[勘合貿易　南蛮貿易　日宋貿易　朱印船貿易]

(徳島県)

[解答欄]

[解答]日宋貿易

[問題]

平清盛は兵庫の港を整え，中国のある王朝との貿易を行った。この中国の王朝は何というか。

(奈良県)

[解答欄]

[解答]宋

[問題]

平清盛は，中国との貿易を推進するために港を整備した。

①それはどこの港か。下の[　　]から１つ選べ。

②また，その港の位置を右の地図のア～エから１つ選べ。

[堺　兵庫　博多　長崎]

(奈良県・滋賀県)

[解答欄]

①	②

[解答]① 兵庫　② ア

[問題]

平清盛が兵庫の港を整備した理由を，当時の外国との関係から，国名を入れて，簡潔に書け。

(大分県)

[解答欄]

[解答]宋との貿易をさかんにするため。

[問題]

瀬戸内海を航行する人々の守り神をまつり，平清盛が信仰した神社で，現在は世界遺産となっているものを何というか。

(石川県)

[解答欄]

[解答]厳島神社

[問題]

次の文中の①，②に適語を入れよ。

平清盛は，平氏一族を高い官職や位につけ，広大な荘園と多くの国々を支配した。また，(　①　)貿易で経済的な利益を得るとともに，娘を天皇の(　②　)にして，朝廷との結びつきを強めた。

(島根県改)

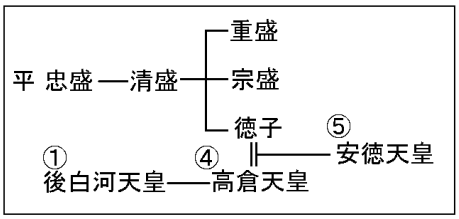
[解答欄]

①	②

[解答]① 日宋　② きさき

[問題]

B さんは平清盛に関する系図をみつけた。この系図をみると，平清盛は，力をふるったとき，摂関政治を行っていたころの藤原氏とよく似たことを行ったことがわかる。それはどのようなことか。



(数字は即位順。後白河天皇と高倉天皇の間に即位した天皇は，この系図では省略しています)

(埼玉県)

[解答欄]

[解答]娘を天皇のきさきとし，その子を天皇にして朝廷の中で実権をにぎった。

[問題]

次のア～エを年代の古い順に並べるとどのようになるか。その記号を順に書け。

ア　関東で起こった平将門の反乱は，武士の力によってしずめられた。

イ　桓武天皇は，政治を立て直すために，今の京都の地に都を移した。

ウ　平清盛は，平治の乱で源氏をやぶり，大きな力をふるった。

エ　長く続いた遣唐使は，唐の力がおとろえたために停止された。

(和歌山県)

[解答欄]

[解答]イ→エ→ア→ウ

[解説]

イ(平安初期：平安京遷都 794 年)→エ(平安中期：遣唐使の停止 894 年)→ア(平安中期：平将門の乱 935 年)→ウ(平安末期：平清盛が太政大臣になる 1167 年)

[問題]

　ア～エのできごとを年代の古い順に並べよ。

ア　白河上皇が院政を始める。

イ　坂上田村麻呂が征夷大将軍になる。

ウ　平清盛が平治の乱に勝利する。

エ　藤原道長が摂政になる。

(北海道)

[解答欄]

[解答]イ→エ→ア→ウ

[解説]

イ(平安初期：桓武天皇が坂上田村麻呂に蝦夷をうたせる)→エ(平安中期の摂関政治：藤原道長が摂政になる 1016 年)→ア(平安後期の院政：白河上皇が院政開始 1086 年)→ウ(平安末期：平治の乱 1159 年)

【FdData 入試版のご案内】
詳細は，[FdData 入試ホームページ]に掲載（[Shift]＋左クリック→新規ウィンドウ）
姉妹品：[FdData 中間期末ホームページ]（[Shift]＋左クリック→新規ウィンドウ）

◆印刷・編集
この PDF ファイルは，FdData 入試を PDF 形式に変換したサンプルで，印刷はできないように設定しております。製品版の FdData 入試は Windows パソコン用のマイクロソフト Word(Office)の文書ファイルで，印刷・編集を自由に行うことができます。

◆FdData 入試の特徴
FdData 入試は，公立高校入試問題の全傾向を網羅することを基本方針に編集したワープロデータ(Word 文書)です。 入試理科・入試社会ともに，過去に出題された公立高校入試の問題をいったんばらばらに分解して，細かい単元ごとに再編集して作成しております。

◆サンプル版と製品版の違い
ホームページ上に掲載しておりますサンプルは，製品の Word 文書を PDF ファイルに変換したもので印刷や編集はできませんが，製品の全内容を掲載しており，どなたでも自由に閲覧できます。問題を「目で解く」だけでもある程度の効果をあげることができます。
しかし，FdData 入試がその本来の力を発揮するのは印刷や編集ができる製品版においてです。また，製品版は，すぐ印刷して使える「問題解答分離形式」，編集に適した「問題解答一体形式」，暗記分野で効果を発揮する「一問一答形式」の 3 形式を含んでいますので，目的に応じて活用することができます。
※FdData 入試の特徴(QandA 方式)（[Shift]＋左クリック→新規ウィンドウ）

◆FdData 入試製品版(Word 版)の価格(消費税込み)
※以下のリンクは[Shift]キーをおしながら左クリックすると，新規ウィンドウが開きます
社会地理，社会歴史，社会公民：各 6,800 円(統合版は 16,200 円)（[Shift]＋左クリック）
理科 1 年，理科 2 年，理科 3 年：各 6,800 円(統合版は 16,200 円)（[Shift]＋左クリック）
※Windows パソコンにマイクロソフト Word がインストールされていることが必要です。
(Mac の場合はお電話でお問い合わせください)。

◆ご注文は，メール(info2@fdtext.com)，または電話(092-811-0960)で承っております。
※注文→インストール→編集･印刷の流れ （[Shift]＋左クリック）
※注文メール記入例 （[Shift]＋左クリック）

【Fd 教材開発】 Mail： info2@fdtext.com Tel ：092-811-0960